

子ども服のシェアリングサービスの取組事例

- 不要になった子ども服などを買い取り、必要な人に販売するシェアリングサービス「キャリーオン」を展開

株式会社カイトックファミリーにおける事例

取組み概要

子ども服のシェアリングサービス「キャリーオン」

- 子ども服は多数のアイテムが必要である一方、必ず不要になるため、シェアビジネスに一定のニーズがあると考え、着られなくなった子ども服の販売と中古子ども服の購入ができるサービスを開始
- Webサイトでは、サイズ、ブランド、カテゴリーごとに検索できるため、成長や好みに合わせて、幅広い子ども服の中から希望に合った商品を見つけることができる
- 「子どもの服がほしいが時間がない」「すぐに着なくなってしまうため予算をかけられない」といった家庭内の経済負担削減にもつながると考えている
- SNSを利用した発信を行い、サービスの認知拡大も図っている



効果

- 家庭内の経済負担の削減につながる
- 2013年サービス開始から会員数は15万人を突破（2026年1月時点）
- 買取点数は200万点を突破（2026年1月時点）

企業名



株式会社カイトックファミリー

設立年

1963年（昭和38年）

売上高

452億円
（2025年2月期）

企業概要

- メンズ、レディース、キッズのカジュアルウェア及びデニム、パジャマ・ホームウェア、インナーウェアなどを取り扱う総合アパレルメーカー